

碧南市哲学たいけん村 無我苑

◆開苑時間

午前9時～午後5時(貸館利用は午後9時まで)

立礼茶席／午前9時30分～午後4時

◆休苑日 月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日) 年末年始(12月29日～1月3日)

◆入苑料 無料

◆駐車場 約90台(無料)

◆交通のご案内

○公共交通機関をご利用の場合

・新幹線「三河安城駅」からタクシーで約20分

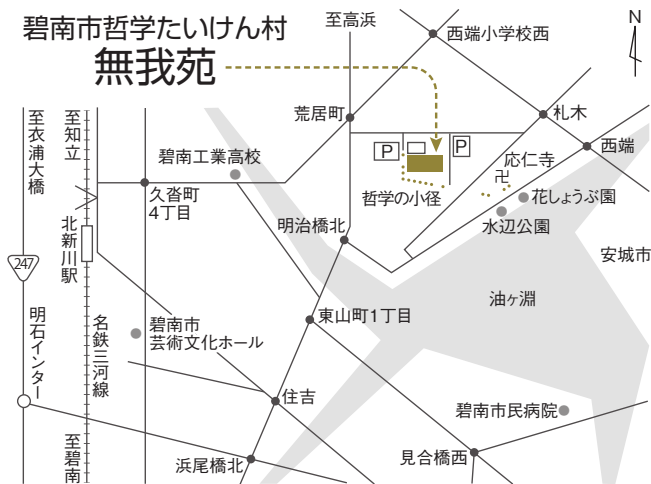
・名鉄三河線「北新川駅」からタクシーで約5分

(名鉄線をご利用の場合 名鉄本線「知立駅」から名鉄三河線に乗り換え)

(JR東海道本線と名鉄線をご利用の場合 JR「刈谷駅」から名鉄三河線に乗り換え)

・名鉄三河線「北新川駅」から無料市内巡回バス「くるくるバス」(みどりコース)に乗りし「無我苑」まで約7分

碧南市哲学たいけん村 無我苑



◆油ヶ渕花しょうぶ園より徒歩約8分

無我苑では、市民茶会「涛々庵茶会」を開催しています。

◆開催日 毎月第4日曜日(12月は第3日曜日)

◆場所 市民茶室「涛々庵」、研修道場「安吾館」

◆料金 1服400円



facebook

心の健康と精神文化を醸成する知的空間
碧南市哲学たいけん村 無我苑

心の健康と精神文化を醸成する知的空間
碧南市哲学たいけん村
無我苑

MUGAEN

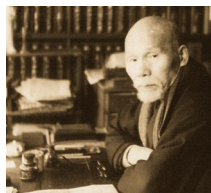
〒447-0087 愛知県碧南市坂口町3丁目100番地

TEL0566-41-8522 FAX0566-41-7761

HP <http://www.city.hekinan.aichi.jp/MUGAEN/index.htm>

哲学を
たいけんする

郷土ゆかりの哲学者



伊藤証信

伊藤証信は、明治から昭和初期にかけて「無我愛」を提唱し、仏教に限らずキリスト教、西洋哲学など幅広い研究と思索を続けた哲学者です。関東大震災後、西端の青年で結成された「竜灯団」に招かれ東京から西端に移り住み、地元青年にカントの『純粹理性批判』を翻訳して教授したり、ドイツ語などを教えたりして、精神主義に基づく思想的影響を与えました。当地西端で書かれた『哲学入門』や『無我愛の哲学』は、証信の著作物の中でも特に高い評価を受けました。

あさ子夫人は証信の活動を支えるとともに平塚らいてう、与謝野晶子、市川房枝らと女性の地位向上運動にも参加しました。現在の「哲学たいけん村無我苑」は伊藤証信が昭和9年に開いた研修道場「無我苑」があった場所で、遺族からの寄贈を受けて市が再建したものです。

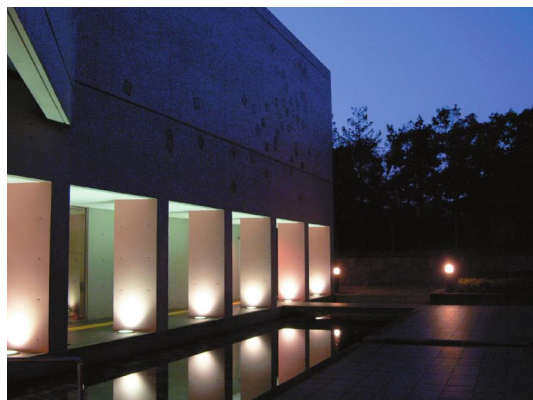


私たちは毎日、あわただしくらしの中に生きています。
ふと立ち止まり、自分を見つめ直してみたい。—————

誰しもそう思うことがあります。自分と向き合い、自分を振り返ってみる、そんな「たいけん」ができれば…。



「哲学たいけん村」は、心に訴える「哲学」的な「たいけん」をしてもらうための導入、あるいはそれを通しての思索に役立つような示唆をできるだけ効果的に提供したいのです。そして、訪れた人が、日常生活の中では得がたい「哲学たいけん」を通して、生きていく意味をあらためて考える機縁になれば、というのが私たちの願いです。





苑内のごあんない

安吾館



涛々庵



瞑想回廊



駐車場



駐車場

涛々庵

安吾館

二重露地

瞑想回廊

瞑想の丘

駐車場

立礼茶席

立礼茶席

二重露地

哲学の小径

応仁寺

油ヶ淵花しょうぶ園

哲学の小径

サイン



和
敬
静
寂



市民茶室 涛々庵 | とうとうあん

美しい日本庭園を配した市民茶室涛々庵には、涛々庵の名に因んだ欄間・唐紙の広間、草庵風の茶室の小間などがあり、本格的な茶会が開かれています。

二重露地(露地囲い) | にじゅうろじ

古田織部の弟子上田宗箇が試みたといわれる全国的にも珍しいもので、外露地と内露地に分かれています。外露地を高い塀で囲い、外界と隔絶された空間を形成しています。

研修道場 安吾館 | あんごかん

安吾館は、伊藤証信が地域の人々のために開いた研修道場を新たに蘇らせたものです。ただし、伊藤証信の旧無我苑をそのまま再建したものではありません。年に数回開催される哲学講座や皆様のさまざまな集いにご利用いただくことができます。

立礼茶席 | りゅうれいちやせき

椅子に座って、日本庭園を眺めながら気軽に抹茶を楽しむことができます。

瞑想回廊 | めいそうかいろう

展示ギャラリーの様々な展示、また、メディテーションルーム(瞑想室)やリラクゼーションルームを通して、皆様に「哲学たいけん」のきっかけを提供しています。日常のくらしとは違った環境に身を置いて、自らを見つめ直してみませんか。池には、伊藤証信の旧無我苑に使われていた瓦が敷き詰められています。

瞑想の丘 | めいそうのおか

コンクリートと芝生に囲まれた空間に、造形家の清野祥一氏の作品が置かれています。

哲学の小径 | てつがくのこみち

哲学たいけん村無我苑と県下最大の自然湖沼「油ヶ淵」の湖畔にある「花しょうぶ園」、蓮如上人ゆかりの寺「応仁寺」を結ぶ道。歩きながら哲学、文化、歴史、自然に触れることができる散歩道で、各所に哲学的な言葉や俳句などを掲示するサインが設置されています。

碧
南
市
哲
学
た
い
け
ん
村
無
我
苑

開
設
に
あ
た
っ
て

「哲学たいけん村」は、伊藤証信氏の研修道場「無我苑」を碧南市が譲り受けた縁で、平成4年6月に設立された。碧南市は他に清沢満之という大哲学者を生んだ町であり、「哲学たいけん村」をつくるのに、誠にふさわしい場所である。

いま世界は一大転換点にあり、地球環境の破壊などにより、新たな哲学が求められている。高度成長の時代においては、哲学は全く無用の長物であったが、今や政治や経済すら哲学を必要としている。

このように哲学が求められるときに、西洋哲学の伝統とともに、東洋哲学の伝統が顧みられざるを得ない。伊藤証信や清沢満之の精神がまた甦ってくると言えよう。

地元出身のよしみで名誉村長に就任した私は、その点で、この「哲学たいけん村」に強い期待をもっているのである。

1992.6.1

碧南市哲学たいけん村無我苑名誉村長

梅原 猛

(平成31年1月12日 逝去)